

平成 30 年度

まちづくり懇談会 実施報告

総務課 広報広聴係

目次

平成 30 年度まちづくり懇談会実施状況.....	4
10 月 1 日（月）福祉.....	5
1 大同保育園と高久保育園の統合及び民営化.....	5
2 総合スポーツ施設の計画.....	5
3 日帰り温泉施設.....	5
4 那須いこいの家の利用.....	6
5 介護施設と障がい者施設.....	6
6 移住者の意見の反映.....	6
7 医療と介護の費用.....	7
8 高齢者サロン.....	7
9 那須中央中学校のテニスコート.....	7
10 福祉タクシー券.....	8
11 高齢者の相談体制.....	8
10 月 2 日（火）経済.....	9
1 町の予算.....	9
2 まちづくり懇談会の開催方法.....	9
3 町の文書管理.....	9
4 放射性廃棄物.....	9
5 地域と観光農の連携.....	9
6 友愛の森再整備.....	10
7 空き店舗活用.....	10
8 那須街道の渋滞対策.....	10
9 町の観光.....	10
10 工場誘致.....	11
11 天皇即位の町の対応.....	11
12 町職員の居住.....	11

10月3日（水）教育.....	12
1 教員の部活動への関わりと外部指導者.....	12
2 教科書の持ち帰り.....	12
3 いじめ問題.....	12
4 学校司書.....	13
5 コミュニティスクールの推進.....	13
6 廃校に残された記念碑.....	14
7 大会参加への激励金.....	14
8 広島平和式典への中学生派遣.....	14
9 旧室野井小学校の利活用.....	15
10月9日（火）地域生活.....	16
1 防災士の養成.....	16
2 大規模太陽光パネルと景観.....	16
3 消火栓の管理.....	16
4 高齢者の移動手段.....	17
5 自治会の加入促進.....	17
6 旧室野井小学校の利活用.....	17
7 町道の拡張.....	18
8 地域おこし協力隊の活動状況.....	18
9 防災倉庫の増設.....	18
10 防災倉庫の点検.....	19
11 健康寿命延伸の取組み.....	19
12 県道の拡張.....	19
13 まちづくり懇談会の開催方法.....	20

平成 30 年度まちづくり懇談会実施状況

実施期間 : 平成 30 年 10 月 1 日(月)から 10 月 9 日(火)まで

実施回数 : 4 回

延参加人数: 46 名(男性: 33 名、女性: 13 名)

※参考(H28) 143 名(男性: 118 名、女性: 25 名)

意見・提案・要望等数: 45 件

開催期日・テーマ

会場: ゆめプラザ・那須

開催期日	テーマ	一般			意見等 (件)	議員	職員
		男	女	計			
10月1日(月)	福祉	8	8	16	11	9	18
10月2日(火)	経済	10	1	11	12	5	21
10月3日(水)	教育	3	1	4	9	12	20
10月9日(火)	地域生活	12	3	15	13	6	29
計		33	13	46	45	32	88

10月1日（月）福祉

1 大同保育園と高久保育園の統合及び民営化	
大同保育園と高久保育園の統合及び民営化が決定し進んでいる。昨年説明会があつて参加したが、反対意見を言えるような雰囲気ではなかった。今年度、大同保育園の保護者会でアンケートを取ったところ、賛成 10、反対 18 という結果だった。（反対意見の一例「遠くなるので送迎が困難になる」「民営化による保育の質の低下が心配」）いまだ反対意見が多い中で、町はこのまま統合と民営化を進めていくのか。可能ならば一度計画を停止させ、もう一度話し合いの場を設けてほしい。	町長 統合及び民営化は決定しているもので、今後計画通り進める予定となっている。反対の意見については把握していなかった。 こども未来課長 昨年度、地域に説明会を開催し、現在は受託事業者の募集が始まっているところである。事業について保護者が不安を抱えていることがよく分かったので、改めて説明会を開催し、理解を得られるよう進めていきたい。 副町長 保護者が不安を抱えていることはしっかりと受け止め、ていねいに説明を続けていくことをお約束する。地域の課題を解決に向けて一緒に協議させていただきたい。
2 総合スポーツ施設の計画	
前町長の選挙公約で町内に総合スポーツ施設の計画が出ていたが、その後どうなっているか。平山町長の考えも伺いたい。	町長 計画は凍結状態となっている。中央運動公園の陸上用トラックを 300m から 400m にしたい、野球やソフトボールができる運動場を作りたい、という思いはある。財政が厳しい現状もあるので前町長ほどの大きな構想ではないものの、いつという明言はできないが、必ず作りたい。
3 日帰り温泉施設	
民間の温泉施設が町内には数多くあるが料金が高く、高齢者はなかなか行くことができない。町営の日帰り温泉施設を黒田原地区に作ってほしい。または、民間の日帰り温泉施設を利用した際のサービス券などの支給などを考えてほしい。	町長 町営日帰り温泉施設を要望する声は高齢者に限らずよく届いているが、維持費の面から非常に難しい。町内には温泉施設が多数あるので、有効利用していただきたい。

<p>4 那須いこいの家の利用</p>	
<p>那須いこいの家が予約しにくい。10月の予約は8月の時点で予約できなかった。そんなに混んでいる印象はないが、なにか理由があるのか。</p>	<p>観光商工課長 いこいの家の宿泊者数は平成28年度と平成29年度を比較すると30%増加している。運営を委託している業者の努力と捉えている。有効活用するため町外の方にも使用してもらっており、紅葉時期は湯本地区全体で宿泊者が多く、予約しにくい状況になっていると思われる。町の高齢者の方に優先的に使っていただきたい思いもあるので、今後の検討課題としたい。いこいの家は日帰り温泉の利用もできる。町民バスも運行しているので、あわせて利用いただきたい。</p>
<p>5 介護施設と障がい者施設</p>	
<p>老人介護施設、身体障がい者施設は、国の方針でグループホームに移行している。身体障がい者用デイサービスは県北地区には国際医療福祉大学だけで、町内にはない。町独自で取り組む考えは。また、デイサービスを高齢者と障がい者が一緒に利用できるようになったと思うが、町ではどうなっているか。国の方針や、病院との調整、財政面等の課題があっても、必要とする人がいるのだから、町独自で取り組むことが大切だと思う。保育園統合の件でもそうだが、町民の意見を聞く姿勢が町として足りないのではないか。</p>	<p>町長 町独自の取組みを進めることについてこの場でお約束はできないが、町民の皆さんの意見をよく聞き、納得いただける方向で進めていきたい。</p> <p>保健福祉課長 町内には総合病院がない状況から、医療機関に併設される高齢者施設や障がい者施設がないのが現状で、ご不便をおかけしていることは承知している。国の方向性は地域共生社会として高齢者と障がい者の総合的支援体制を目指している。町もそれに沿った形で進んでいくことになる。</p>
<p>6 移住者の意見の反映</p>	
<p>移住者促進をするなら、移住者からどうして移住したのか、何が足りないかなど、現在の住み心地と将来について意見を聞くべきだ。そこからヒントが得られるはずだと思う。</p>	<p>町長 移住者の方々からの意見を聞く場は設ける必要があると考えているし、アドバイスを得ていきたい。</p>

7 医療と介護の費用	
<p>高齢化が進む中で、町予算の1/3を占める医療・介護の費用増大の対策が取られていないように思う。健康な人がその状態を保てる施策、健康年齢をあげる対策を進めてほしい。</p>	<p>町長</p> <p>町では町民ひとり1スポーツを推進している。みんなで楽しく健康になれる活動を地域で取り組んでおり、町としても周知を図り、健康づくりに力を入れていきたい。</p>
8 高齢者サロン	
<p>4月から田代で高齢者サロンが開設された。各地区の歩いていける距離にそういったサロンを開設し、ひとり暮らしの高齢者や高齢夫婦などに来てもらい交流を図って、生きがいづくりをしてもらうことが大事だと思う。また、高齢者施設と保育園を併設させ、高齢者と子どもが交流するような縦の関係も大切だと思う。町や町議会も、地域と一緒に取り組んでほしい。</p>	<p>町長</p> <p>子どもから高齢者までみんなが繋がれるような政策は必要だと感じている。広報周知だけでなく、地区社会福祉協議会とも連携を図りながら、また町議会の協力も得ながら進めていきたい。</p> <p>保健福祉課長</p> <p>生きがいサロンは現在、町に6カ所の登録がある。この他に任意で設置されているものもあり、希望があればそこに保健師を派遣し介護予防の指導をする事業もある。また、町の助け合いを進めるため「生活支援体制整備協議会『なすあった会』」を立ち上げて話し合いを進めている。地域の困っている人をどのように助けていくかを、地域とともに考えている。ぜひご参加いただきたい。</p>
9 那須中央中学校のテニスコート	
<p>東陽中学校と黒田原中学校が統合する際、テニス部員が増えることが予想されたが、その後、テニスコートの使用状況はどうなっているか。</p>	<p>教育長</p> <p>那須中央中学校にはテニスコートが3面あり、テニス部員が増えるにあたり当時対策を練った。これによりサッカー部とソフトボール部は運動公園を使用し、テニス部の1年生は中学校のグラウンドを使用している。テニス部の主要部員は、大会前などは町のテニスコートでも練習しており、不足しているという声は聞いていない。</p>

10 福祉タクシー券	
福祉タクシー券利用の方向性が変わると聞いた。どう変わるのか。	保健福祉課長 1回につき利用できる上限が4枚だが、来年度から8枚にすることを考えている。交付されるのは従来どおり48枚で変更の予定はない。
11 高齢者の相談体制	
近所にも家にこもりがちな高齢者が多くいるが、地域に老人会がなく、どこに意見をあげればいいのか分からず不安である。こうした意見交換会をもっと分散させたり、日常的に開催することはできないか。老老介護の現状を知りながら、それを相談する場が分からない。	保健福祉課長 地域の見守り体制は、民生委員の協力を得ながら高齢者世帯を対象に毎年高齢者調査として訪問を行っており、見守りが必要な方は定期的に訪問している。地区社会福祉協議会においても小地域福祉計画を策定し、地域の見守り体制の充実や生きがいを促進するため「ふれあいルーム」の開催、ひとり暮らし高齢者の訪問を行っている。町保健福祉課と地域包括支援センターでは高齢者支援、相談業務を行っているため、ぜひ相談してもらいたい。

10月2日(火) 経済

1 町の予算	
町の予算の決算書を見ても内訳や詳細が分からない。また、家計簿や一般企業の決算書と違って難しい。予算の成り立ちについて出前講座をやってほしい。	町長 分かりやすくていねいに説明するよう努めたい。決算書だけでは分からない部分は担当課に確認願いたい。
2 まちづくり懇談会の開催方法	
町の膨大な予算について、この4日間のまちづくり懇談会で話し合うのは無理があるのではないか。開催方法に疑問がある。	総務課長 まちづくり懇談会は、町の一年間の事業すべての説明を趣旨としているものではない。日頃から町政に対して様々な意見や要望を受け付けており、その一環として開催している。
3 町の文書管理	
町の文書管理はどうなっているか。計算ミス等はないのか。	町長 誤字、脱字、計算ミス等は複数人で確認し、その過程で修正を行っている。しっかりと管理していくよう徹底していきたい。
4 放射性廃棄物	
町内では、放射能で汚染された牧草等を保管しているが、麻の袋やビニールの耐性はそんなに長くはない。空間放射線量だけでなく、土壌についても定期的に検査していくべきだと思う。	町長 農家の方や個人の負担を考えると、町も保管方法を考えていかなければならないと考え、環境省の実証事業に今協力しているところである。安全であることを目で見て聞いて確認できればと思っている。この事業で保管の安全安心が確認できるということが第1歩だと考えている。
5 地域と観商農の連携	
DESTINATIONキャンペーンに伴い、地域で商品開発を行い JR、観光協会とともに商品販売を行った。また農家民泊に合わせ首都圏の中学生の田植え体験も行い、これにより地域にお金が落とされる結果となった。またなにか商品開発をしたいと考えている。今後も地域と観光協会、商工会、町等とともに定期的な会合などを持ち、共通認識の中で誘客を図っていくことはできないだろうか。	町長 ご提案のとおり、地域と一緒に積極的に取り組んでいきたい。町が音頭をとっていきたい。 町商工会 経済四団体が連携し、旧美野沢小学校近辺で食用バラの栽培ができないか、現在研究を進めている。ブランド化し、町内のホテルやレストランに出荷できればと考えている。

6 友愛の森再整備	
友愛の森の見直しの内容はどうか。	町長 いくつかの団体が直売所やレストランを運営しているが、できればひとつの組織による運営にしていきたいと考えている。団体の皆さんの意見をよく聞き調整しながら進めていきたい。施設整備にお金をかけるのではなく、おもてなしの心で観光客を迎え、情報提供の場、ハブ機能として発展させたい。ただし、駐車場の整備、接道整備については止めるものではなく進めていく考え。
7 空き店舗活用	
空き店舗の対策と活用についてどうか。	町長 町の力だけでは難しい部分もあるので、企業や事業所とともに考え発展につなげていきたい。
8 那須街道の渋滞対策	
那須街道の渋滞対策についてどのように考えているか。	町長 歩道整備も含めて国や県にトップセールを行い、強く要望していく。
9 町の観光	
那須は日光にはかなわないという印象がある。御用邸をPRした観光商法は進められないものか。外国人観光客が日光から那須に流れてくるのではなく、直接那須に来てもらえるような体験型リゾートを目指してはどうか。ブルーラインを活用し、子どもの自転車レースや車いすレースなどはどうか。	町長 気品のあるリゾートとして打ち出していくのは一つの手と考えている。また「日光那須国立公園」を「那須国立公園」としたいと考え掛け合っているところである。特にインバウンドでは「御用邸」と「国立公園」は効果的だと考えている。 副町長 実際に天皇が静養されている状況の中で、それを売りにするのは違和感がある。宮内庁の理解も得難い。ブルーラインは指摘のとおり、プロレースだけでなく、誰でも参加できるようなレースを開催するなどして有効に利用するよう考えていきたい。

10 工場誘致	
<p>那須高原サービスエリアにスマートインターチェンジができる際、工場誘致の話があったが、その後どうなったか。</p>	<p>副町長 製造業の工場等を誘致する際は水の確保が非常に重要でこれがネックになっている。製造業が難しいとしても、研究機関なら無理ではないと考え、話を進めたいと考えている。</p> <p>町長 県の東京事務所、大阪事務所を通じてトップセールスを行い、企業誘致を進めたい。地元の若い人の雇用につながるのであれば、そのために水を引くことは先行投資としてやるべきだと考える。</p>
11 天皇即位の町の対応	
<p>新たな天皇の即位に際し、町として何かお祝いを考えているか。</p>	<p>町長 現段階で動きはないが、町としてお迎えの気持ちを表したいと考えている。今のところ個人的考えに留まっている。</p> <p>副町長 地元の協力が必要。各家庭や事業所で横断幕を下げるとか、お祝いの気持ちを発信するのは大切だと思う。観光資源としてではなく、真摯に祝福する気持ちを考えていきたい。</p>
12 町職員の居住	
<p>町職員の何割が町内に住んでいるのか。町の発展のためにも町職員は町内に住み、町税を納めてほしい。</p>	<p>町長 職員採用試験で町内の人が受験していないということもある。是非受験してほしい。職員に町に住んでほしいという思いは私も持っている。なんとかしていきたい。</p> <p>副町長 町内にアパートがないので近隣に居住している現状もある。採用は公平にやっており、全国から広く良い人材を採用していく。</p>

10月3日（水）教育

1 教員の部活動への関わりと外部指導者	
<p>教員の事務量が増えている中で、部活動にとられる時間はどのくらいか。また、部活動での外部指導者はどのくらいか。</p>	<p>教育長</p> <p>町でも勤務実態の把握に努めているところで、部活動に関しては平日の練習と土日の練習や試合などで、週20時間程度関わっているのではないかと思われる。昨年从那須地区教育長部会において、毎月第3日曜日の家庭の日は部活動を行わないよう申し合わせをし、今年は第1日曜日と第3日曜日は部活動を行わないよう徹底を進めている。国のガイドラインでは毎週土日のどちらかは休みにするとなっている、実態を把握しながら、那須地区で足並みを揃えて少しずつ進めていきたい。町には、県から報酬がでている外部指導者が町内に2名いる。費用面や人材確保の面で難しいところもあるが、教員の負担軽減のため取り組んでいきたい。</p>
2 教科書の持ち帰り	
<p>ランドセルも大容量になり、6～7kgを毎日背負うのは児童の負担になると思う。家庭学習で使わない教科書は学校に置いて帰っても良いのでは。</p>	<p>教育長</p> <p>教える内容が増えたことで教科書も大きくなり厚くなっている。町の校長会でも今後問題にしていきたい。ロッカーに置いておくことで盗難や紛失してしまうことを防げれば、家庭学習に必要なものは置いて帰っても差し支えないと考えているので、学校に指導していきたい。</p>
3 いじめ問題	
<p>いじめ問題については、養護教諭は児童生徒も話しやすいと思うので、保健室の活用に取り組んでほしい。各校共通理解の中で取り組んでほしい。</p>	<p>町長</p> <p>学校でのいじめや引きこもり、友人とのトラブルは、学校だけでなく、幼稚園や保育園と連携を図り、保護者の対応も必要となる。横の連携を図り早期対応に努めたい。</p>

	<p>教育長</p> <p>保健室、養護教諭の存在は確かに大きい。各校ではいじめが発生すると早急に対策委員会を立ち上げ対応している。町では心の教室相談員として児童生徒の心のフォローをする相談員を2校に1人配置し、また県のスクールカウンセラーが拠点校に常駐しており、きめ細やかな対応に努めている。</p>
4 学校司書	
<p>町立図書館が1カ所しかない中で、児童生徒にとって学校の図書室はとても大切だと思うが、司書教諭がいない。大人がいない図書室はただの本の倉庫と同じで、児童生徒を本の世界にいざなう大人が必要だと思う。週に何回かでも良いので司書を各校に配置する予算措置をお願いしたい。学校図書の予算が配分されているが、教員が激務の中で児童生徒が必要とする図書を広範囲の中で選ぶのは大変だと思う。学校図書の予算を有効に活用するためにも、司書の役割をボランティアを活用しながらでも良いと思うので、進めてほしい。</p>	<p>町長</p> <p>様々な分野で活躍していくには読書は大切だと思う。ボランティアのご協力は非常にありがたい。図書室の充実においてもぜひ活躍いただきたい。</p> <p>教育長</p> <p>司書の配置については、コミュニティスクールの一環として取り組めないか模索しているところである。ボランティアにご協力いただきたい。</p> <p>副町長</p> <p>学校図書の整備は課題として受け止めた。各公民館にも図書館があるが、公民館主事もどういく図書を公民館に置くか、勉強が必要だと感じている。いくつになっても本から得られるものは大きいので、児童生徒だけでなく地域の図書についても取り組んでいきたい。</p>
5 コミュニティスクールの推進	
<p>地域教育コーディネーターを4年務めており、地域の力を活用しながらコミュニティスクールの充実に取り組んでいる。先日も土曜講座を開催し児童生徒、地域の人にも好評を得た。こうした取り組みを進め、ぜひ教育立町をうたってほしい。子育てするために移住してくる町になるといいと思う。</p>	<p>町長</p> <p>学校と地域の絆が薄れることのないよう、今後もコミュニティスクールに力を切れていきたい。</p>

6 廃校に残された記念碑	
<p>廃校となった学校に、記念碑が草に埋もれている。このまま放置しておくのか、移設するのか、考えてほしい。手伝いが必要であれば地域も手伝う。</p>	<p>町長 元々の後援会や保護者の声を聞きながら今後の方向性を決めたい。</p>
7 大会参加への激励金	
<p>地域の小学校のソフトボール部が全国大会等に出場し応援に行ったが、現地で費用面で出場を断念するという学校があることを聞いた。児童生徒の芽を摘まないよう、費用面についても応援をしてほしい。県の代表として全国大会に出るのだから、県から補助があっても良いのではないか。</p>	<p>町長 更なる励みとなるよう町としても援助していきたいという思いはある。地域の温度差もあるかもしれないが、どのスポーツにもかかわらず、町全体として応援する雰囲気づくりをしていきたい。</p> <p>教育長 県の体育協会等から補助等はない。町は全国大会出場団体には100万円を支出している。これは他の自治体よりも多い。保護者の負担が大きいことは重々承知している。</p> <p>生涯学習課長 県の補助がなく残念ではある。町では関東大会出場の個人や団体に激励金を支出し、去年は総額600万円ほどだった。</p>
8 広島平和式典への中学生派遣	
<p>中学生の広島平和式典への派遣について、町としてより多くの生徒を派遣し体験させ、それを伝えられるようにしてほしい。発表することで行っていない生徒にも語れるような形にしてほしい。</p>	<p>町長 派遣生徒の発表が素晴らしいと聞いている。今後も継続させていきたい。派遣人数を増やすことについても検討したい。</p> <p>教育長 町単独で10名派遣しているのは近隣自治体と比較すると多い方であるが、こうした事業を大切にし進めていきたい。平和について考える機会はなかなかないので、見てきたもの感じてきたものを文字に表現し、各校の文化祭や町民ホールでも発表している。</p>

	<p>副町長</p> <p>実際に体験することも大切だし、本を読むことで同じくらいの体験をすることができる。読書の大切さと並行して、町として良い方法を進めていく。</p>
9 旧室野井小学校の利活用	
<p>旧室野井小学校について、町としての方向性が見えない。旧朝日小と旧田中小の活用方法を比較し、魅力という点について考えると、旧朝日小の方が赤ちゃんから高齢者まで利用でき、活気があるように思える。施設利用をする際、旧田中小だと物品を借りるときや時間延長するときなど、内容によって窓口が違うのは、借りる側としては疲弊する。旧田中小はボランティアが活用しやすいように工夫できる場所がもっとあるように思える。旧朝日小は運営が民間なので融通が利く。これを踏まえ旧室野井小はどのような活用を考えているのか。個人的要望になるが、町にはボランティアグループがたくさんあり、使用してる道具などを今はメンバーが各家庭で保管している。空き教室に保管させてもらったりはできないか。</p>	<p>町長</p> <p>雇用を生むような場所にできたらという思いがある。現在利用している方や地域の方たちの意見やアイデアを聞きながら進めていきたいと考えている。受け手がいなければ場所によっては解体もありうる。</p> <p>町民</p> <p>ボランティアが保有する物品の保管の問題はどこも同じ。制限が必要。教育に関するものは町として融通を利かせて貸してもいいのではないか。</p> <p>副町長</p> <p>工夫すれば、保管方法については考える余地はある。学校を使う際は用途変更とか行政の手続き上の問題もあるが、貸せる前提で検討したい。追ってご連絡する。</p> <p>町民</p> <p>廃校の校舎の耐震対応はどうなっているのか。そこが問題だと思う。耐震をクリアしていて、貸せる貸せないを明確にしてほしい。</p> <p>副町長 耐震対応ではないところは将来的には取り壊すしかないか。それも踏まえて検討する。</p>

10月9日（火）地域生活

1 防災士の養成	
<p>防災面での地域のリーダーとして防災士の資格を取得する人が増えている。県内でも資格取得に対し助成制度が設けられている自治体もある。町でも養成講座を開催したり助成制度を設けたりして、積極的な人材育成に取り組んでほしい。</p>	<p>町長 前向きに検討したい。近隣自治体に遅れることのないよう、町民と協働で町を守っていききたい。助成内容については検討する。</p>
2 大規模太陽光パネルと景観	
<p>自然エネルギーの推進を止めることはできないし理解もしているが、大規模な太陽光パネルにより景観が損なわれているのが非常に残念だ。町民の人柄の良さと豊かな自然に惹かれて移住してきたので、これからもそれを伝え移住を勧めるつもりでいる。</p>	<p>町長 太陽光パネルの設置については、町民の意見をよく聞き、国や県と協議して、景観を考慮しながらより良い方向で進めていきたい。</p>
3 消火栓の管理	
<p>街中に設置してある消火栓を使おうとしてもホースやレバーがなかったり、箱がさびいて撤去されたりしている。使えない状態のものを今後はどうしていく予定か。どういう状態でどういう予定なのかを教えてください。</p>	<p>総務課長 消火栓の操作には危険が伴う場合があるので、基本的には訓練を受けた消防署員や消防団員が、水利が確保できない場合、ホースを繋いで操作を行う。まずは近辺から水利を確保するのが第一で、水利確保が難しい地域では防火水槽の整備も進めている。すべてが使えるとは断言できない。地元が設置したものもある。</p> <p>副町長 すべての消火栓が使えるよう消防署とも点検確認を進める。一部の消火栓は地元が設置したものもあるが、管理について自治会に押し付けるものではないので、相談していきたい。</p>

<p>4 高齢者の移動手段</p>	
<p>高齢者の移動手段が問題になっていると思う。近所の助け合い、ボランティアの力を活用し、移動手段を作り上げていく仕組みを作ってほしい。国の考えを待つのではなく、町独自でどんどん進めてほしい。</p>	<p>保健福祉課長 地域の移動支援については、現在その方法について検討を進めている。助け合い活動についても地域住民に集まってもらい町全体で話し合っており、話し合いは徐々に地域にも移行していく。その中で高齢者支援の体制づくりについて、地域とともに進めていきたい。</p> <p>ふるさと定住課長 道路運送法上、無償であれば問題ないとか、有償でも実費弁償でよい場合など様々なケースがある。町民の方のアイデアに添ってご相談に応じたい。</p>
<p>5 自治会の加入促進</p>	
<p>自治会未加入戸数は掴んでいるか。高齢になると家にこもりがちで情報が得にくい中、自治会に加入していることで回覧板が回ってきて情報交換の機会を得られる。自治会加入を強制することはできないと思うが、防災の観点からも自治会の良さを知ってもらい、加入率の上昇を目指してもらいたい。</p>	<p>企画財政課長 町内の世帯数 10,275、加入戸数 6,442、未加入戸数 3,833、加入率 62.7%となっている。ただ、伊王野地区では 83.1%となっており、町内でもかなりばらつきがみられる。(参考 那須塩原市 63.4%、大田原市 66%) 加入の強制はできないが、転入時にチラシを配布し加入を促している。</p> <p>町長 町のことをよく分かってもらうためにも加入してもらいたいと考えている。今後も加入率をあげるよう努力していきたい。</p>
<p>6 旧室野井小学校の利活用</p>	
<p>旧室野井小学校が廃校になり、校庭や体育館については利用させてもらっている。町としては跡地利用をどのように考えているか。</p>	<p>町長 旧室野井小に限らず学校の跡地利用はできるだけ地域の意見を聞きながら、町の発展、地域の雇用につながるような事業展開をしていきたい。</p>

<p>7 町道の拡張</p>	
<p>通学路の危険箇所を調べたところ、倒壊しそうな建物がある。あの辺の道路を拡張する話も聞いているが、児童の通学中に万が一なにかあったら誰が責任を取るのか。対策を検討してほしい。</p>	<p>建設課長 県道 28 号から教育相談室に向かう道は幅員が 4 m で、拡幅改良箇所として計画している箇所となる。地元説明も終わり、用地交渉ができれば、計画としては来年度には着工したいと考えている。</p>
<p>8 地域おこし協力隊の活動状況</p>	
<p>地域おこし協力隊の活動状況はどうなっているのか。事務所がないとも聞いている。拠点がないと、繋がりたいときにどう連絡とればよいのか分からない。地域との連絡、協力体制を分かるようにしてほしい。</p>	<p>ふるさと定住課長 現在 5 名が活動しており、拠点は役場とし、それぞれが活動しやすい形をとっている。</p> <p>副町長 以前には旧ムロイ金物を拠点にしていたこともあるが、いまはそういう場所を設けていない。今後は空き家の活用等も含めて活動拠点を定めることを考えていきたい。</p>
<p>9 防災倉庫の増設</p>	
<p>防災倉庫をいざというときに使えるように、観光客が多く歩いている八幡の駐車場付近に置いてみてはどうか。増やす考えはあるか。</p>	<p>町長 防災倉庫は消防署が管理しているものだが、防災意識をもって、国の補助を活用したりして、関係機関や地域とともに詰めていきたい。</p> <p>副町長 防災倉庫の中に、火山災害を視野に入れるか、土砂災害を視野に入れるかでは、入れるものが変わってくるのは理解している。また指摘のように町内で足りているのかというのも根本にはあると思う。場所に応じて中身も踏まえた検討をして、必要な部分には設置をしていくということを考えていきたい。</p> <p>総務課長 那須岳火山防災協議会専門部会で突発的な噴火にも対応できる防災計画に変更していくことを協議検討している。防災倉庫についても協議できればと思う。</p>

10 防災倉庫の点検	
<p>防災倉庫の点検を何年か前にしたとき、つるはしなど、時代にそぐわないものもあり、万全ではないという意見もあった。また、発電機ぐらいは各避難所には配置してほしい。</p>	<p>町長 防災倉庫の中身については、改めて把握を徹底する。発電機は4台新たに購入し、避難所設置の際は職員が持っていく形をとっている。必要に応じて増やしていきたいと考えている。</p>
11 健康寿命延伸の取組み	
<p>スーパーで健康チェックをしたり、介護予防の取組みをポイント制度化している自治体もある。健康寿命延伸の取組みを工夫すべき。</p>	<p>保健福祉課長 介護予防教室や、リハビリ専門職を地域に派遣する事業を行っており、町民ボランティアにもご協力いただいている。引き続き周知を図っていききたい。健康ポイントについては、近隣自治体の取組みを参考にしながら検討を進めている。</p>
12 県道の拡張	
<p>那須塩原市に向かう県道 211 号線の柏団地から高久駅付近はセンターラインもなく早急に整備すべき。町として県に対してもう少し働きかけが必要ではないか。町民としても協力できることはしたい。</p>	<p>町長 要望は長年行っており、計画変更しながら県でも進んでいると聞いている。現在は町で地籍調査を行っている段階で、それが終われば用地交渉に進める。一日も早く進む方法で、町としてできることは協力していく。</p> <p>建設課長 おおよそのルートと構想ができ、県としては今年度中に地元説明会を開きたいとのこと。用地交渉が上手くいかず計画どおりに進まないことは県も町も同じで、効率的な案が一番だが地元の理解が得られないと進められない。複数ルートを設定した上で最良のルートを選定し、所有者と話を詰めながら進むことになると思われる。</p>

13 まちづくり懇談会の開催方法	
<p>4回のまちづくり懇談会を通して、町民の関心が低いことが伺える。町議会の出席も少なく感じる。町民に関心を持ってもらえる工夫をお願いしたい。</p>	<p>町長 今年度は町民に来てもらう形となり反省している。次回は地域の公民館などに出向いて町民の意見を聞かせてもらいたい。議会からは分野に携わる議員に来ていただいたと理解している。職員一丸となり、町民が行政に関心を持ってもらえるよう努力していかなければならないと感じている。</p>